

# 図書館だより



上宮太子高等学校  
第7号

2021年1月 発行

## 日本文学にハマっています♪パート3

先月、ミスがありました…。芥川龍之介を紹介しようと前振りをして、太宰治の『人間失格』を紹介していました。ただ、芥川龍之介は素晴らしい作品を書いたとは思っています。そして、高校生の君たちにもその凄さを伝えなきゃと感じていますが、どうしても個人的に「好きじゃない!」という思いが先行してしまい、うまく紹介できない…。国語でも芥川さんの作品にはふれると思うので、そこは国語の先生におまかせしときます。…ということで、他の作家を紹介したいと思います～。



左のこの人、誰かわかりますか?谷崎潤一郎です。その文章の美しさと、作品の芸術性において国内外で高い評価を受けています。ノーベル文学賞にも最終候補までノミネートされている数少ない作家のひとりです。その作品は耽美的な雰囲気を携え、美しく魅力的な女性像を描くことに特徴があります。性的なイメージも頻発しますが、そのなかに深い人間洞察が重ねられます。そしてストーリーはドラマティックで強烈な印象を与えるものが多いです。通俗性と芸術性を兼ね備えた作品世界は現在でも色褪せることなく、読者の前に色鮮やかに展開されてい

きます。彼は、作品に登場する女性に対する愛がゆがんでいます。ちょっと刺激的ではありますが、表現の美しさに没頭して読んでしまいます。少し大人の扉を開けてみたい人は、読んでみましょう♪

### < 代表の作品 >

『痴人の愛』:主人公のナオミはどんなに真面目なカタブツ男も「痴人=愚か者」にしてしまう<肉体>を持つ女性。年の離れた女の子を自分好みに育てようとする。ナオミの魅力の虜になるかも。

『春琴抄』:春琴は、丁稚の佐助をこきつかう盲目のお嬢様。ある日、春琴が顔にやけどを負って美貌が台無しに。超がつくほどの M 男の佐助はその時どんな行動をとったのか。

『卍(まんじ)』:男女の三角関係も、谷崎はレベルが違う!!良家の夫人が同性愛にハマってしまって、さらにその夫までもが…。これ以上はここでは書けません!!

『細雪』:美人四姉妹の物語。次々と男を翻弄していく四女の妙子が主人公。自由奔放な彼女の魅力に読者も引き込まれそう…。

【 開館時間 】 ※会議や行事などによって変更することがあります

昼休み 12:40～13:05

放課後 (月・金)16:35～18:00 (火・水・木)16:10～18:00

(土)13:30～16:30

